

第35回 一日舞踊大学講座 2017 ダンスと教育

現代舞踊協会研究企画部では、未来の文化を担う次世代の若者に視点を聚めます



近藤良平と 踊る、 ダンスを語る

《はみ出したダンス教育—コンテンポラリーダンスが伝えるもの》



2017. 3/4 [土]

9時50分～17時00分 (9時20分より受付)

日本大学藝術学部江古田校舎

(北棟第5実習室、北棟第6実習室、小ホール)

西武池袋線各駅停車にて江古田駅下車、北口より徒歩1分

◎ワークショップとデモンストレーション

「こんどう流ダンスワーク」 近藤良平

◎座談会

「はみ出したダンス教育
—コンテンポラリーダンスの拡張と反抗」

近藤良平 石井達朗 藤崎周平 加藤みや子

◎文化庁新進芸術家海外研修員による帰朝報告

高橋純一 船木こころ

マスメディアを通してコンテンポラリーダンスを、社会に、人に繋げたダンス界の異端児、近藤良平と共に、からだをみつめ、からだを発見し、感じるそこから始まるダンスを学ぶ。

からだって何だろう？
こころって何だろう？
表現ってなんだろう？
頭で考え過ぎずに、
「調子にのっちゃって」踊ってみるのが近藤良平風。

きつと踊るからだが好きになる。
彼の魅力はその人間力。
自由で面白い。

学ランを着た男性舞踊集団「コンドルズ」といえば、誰でもが、「ああ、あれね」とうなずく。ダンス界に一大旋風を巻き起こした近藤良平が、コンドルズを結成して、昨年は20周年を迎えたという。そのエンターナーとしての才能、舞踊の粋を超えて、芝居あり、映像あり、歌ありの舞台は、当時話題となり、今でも不動の人気ぶりだ。その後、近藤は、TVや新聞雑誌などのメディアに度々登場、一躍時の人となった。「こんどうさんちのたいそう」や、「にゅー盆踊り」など、人を惹付けて走り続ける。大真面目にふざけて、本気で踊って、そこに人間がいる舞台に、ほっとするのは彼の人柄からくる暖かさ故なのだろう。大学では教育学部で学んだエリート教育者の顔も持つ。ダンスと教育のエキスパートであるにもかかわらず、そんな風に見せないところがスゴイ。南米育ちの自由人で、奔放なちょっと変人でもあるところが人気の秘密なのか。

今、教育に彼のような自由な発想で、感覚的に、かつ論理的に鋭く人を見ることのできる舞踊家、教育家が必要なのだから、大いに彼の活躍を期待するところである。コミュニケーションとしてのダンス、アウトリーチの活動にも心を砕いている。近藤良平だからできる何か、を私たちは皆楽しみにしているのだ。



近藤良平 Ryohei Kondo (舞踊家・コンドルズ主宰)
振付家・ダンサー。学ラン姿でダンス、映像、コントなどを展開するダンス・カンパニー、コンドルズ主宰。NHK「サラリーマンNEO」、「からだであそぼ」などに振付出演。同「てっぺん」オープニングの振付も担当。第四回朝日舞台芸術賞山修司賞受賞。立教大学などで非常勤講師としてダンスの指導にあたる。東京スポーツ国体2013開会式式典演技総演出担当。コンドルズは今年9月に20周年記念となるNHKホール公演を敢行、前売り券即日完売、追加公演を行う。南米育ち。愛犬家。

10:00~12:20 北棟第6実習室

ワークショップとデモンストレーション

こんどう流ダンスワーク 講師:近藤良平

12:20~13:00 北棟第6実習室

帰朝報告 報告者:高橋純一 船木こころ

14:00~15:30 北棟第5実習室

座談会

**はみ出したダンス教育
—コンテンポラリーダンスの拡張と反抗**

講師:近藤良平 石井達朗 藤崎周平 加藤みや子

15:30~16:45 小ホール

参加者によるクリエイション、デモンストレーション

2017. 3/4 [土]

9時50分~17時00分 (9時20分より受付)

日本大学芸術学部江古田校舎 (北棟第5実習室、北棟第6実習室、小ホール)

参加費…一般 4000円 協会員 3500円 学生3000円 学生協会員 2500円
定員70名 (定員になり次第メ切) 受講料は当日お支払い下さい。 (日大生に特典あり)

主催: (一社) 現代舞踊協会 協賛: 日本大学芸術学部演劇学科

企画・制作: 研究企画部 (正田千鶴、加藤みや子、中村しんじ)

／馬場ひかり、藤井 香、時田ひとし) 協力: 范 旅、松永雅彦

●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAX 03-5457-7732

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を
読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。

●申込締切 2月20日 (月)

●お問い合わせ (一社) 現代舞踊協会事務局 TEL.03-5457-7731
〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3 グレイス代官山402号



石井達朗 (舞踊評論家)
舞踊評論家。ニューヨーク大学 (NYU) 演劇科プライト研究員・同パフォーマンス研究科ACLS研究員などを経て慶応大学名誉教授、愛知県立芸大非常勤講師。関心領域として、サーカス、アジアの身体文化、ポストモダンダンス、ジェンダー／セクシュアリティとパフォーマンス。著書に「身体の臨界点」「男装論」「ポリセクシュアル・ラヴ」「アクロバットとダンス」「サーカスのフィルモロジー」「異装のセクシュアリティ」ほか。



藤崎周平 (日本大学芸術学部教授)
1980年日本大学芸術学部演劇学科卒業。主に俳優教育に携る。東京演劇大学連盟 (桜美林・玉川・多摩美術・桐朋学園芸術短期・日本) の設立 (2013年) にかかわり、また、大学における俳優教育のスタンダードづくりを志して、2016年から連盟の中に演技システム研究会を立ち上げた。著書に「演技の基礎のキソ」がある。日本演劇学会理事。日本大学芸術学部演劇学科主任。



加藤みや子 (舞踊家)
加藤みや子ダンススペース主宰。森嘉子、藤井公、利子に師事。仏・パニコレコンテ、伯・巡回公演 (国際交流基金主催事業)、米・フェスティバル巡演等に招聘され高く評価される。83年よりアネックス仙川ファクトリーを拠点に各地で五感を開くワークショップやアーティスト交流の場、HHWを開催。現代舞踊協会常務理事。日本大学芸術学部非常勤講師。



高橋純一 (舞踊家)
99年より藤井公、利子、上原尚美の元で踊りを学ぶ。以後様々な作家の作品に出演するかたわら、近年は作品創りにも取り組んでいる。2012年現代舞踊協会新人振付賞受賞、2013年埼玉全国舞踊コンクール第1位受賞。2015年3月から1年間、文化庁派遣在外研修員としてフィンランドのTero Saarinenカンパニーで研修を受ける。



船木こころ (舞踊家)
日比野京子に師事。玉川大学芸術学部卒業。現代舞踊協会制定新人賞、東京新聞主催全国舞踊コンクール第1位、他多数1位受賞。文化庁新進芸術家海外研修員としてオランダに1年研修。高い柔軟性から描かれる曲線美と、芯の通った表現力には定評があり、多彩な国内外の振付家のもとソロダンサーとして出演している他、B's稲葉浩志「Oh my love」PVソロダンサー出演など活動の業を広げている。

一日舞踊大学講座申込書

*「舞踊指導者認定」申込の方は右に○をして下さい。

*ダンスプラン出演者の方は右に○をして下さい。

認定申込

ダンスプラン出演者

フリガナ

氏名

住所 〒

所属研究所／舞踊団

(○をお付け下さい)

一般／協会員／学生・高校生／学生・高校生協会員

TEL

FAX

E-mail

*携帯でも可ですが、諸連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。